



就農者の紹介



木 本 昌 夫 (米子市) (アグリスタート研修4期生)

- ■経営品目 白ねぎ
- ■就農時期 平成24年2月
- ■これからの抱負

収穫機の購入に併せて作付面積の拡大を検討中です。将来的にはU・Iターンの就農希望者がここで農業の厳しさや楽しさを体感し、次のステップにつなげられるようなネットワークを広げたいと考えています。

■これから就農する人に一言

農業は楽しいと思う一方、自分がやったことの結果がすべて、厳しい職業です。 一人で気楽に農業を、などと考えてはいけません。農業こそ、人とのつながりがないとできません。地域のいろいろなことに携わっていかないと農業で根付くのはとても難しいことです。



實 藤 光 (琴浦町)

(アグリスタート研修8期生)

- ■経営品目 スイカ、トマト、ブロッコリー
- ■就農時期 平成28年2月
- ■これからの抱負

これまでは、どこまでできるのか農地を拡大し挑戦してきましたが、今は自分が理想とする生活のペースに合った規模を見極めるべき時期に来たと考えています。楽しさと忙しさ、やりがいのバランスが保てる農家像をじつくり探って見るつもりです。

■これから就農する人に一言

生き物・自然が相手なので、一筋縄ではいきません。でも、そこから学んで自分の農業を創り上げていくのは大きな悦びだと思います。



石 田 敦 裕 (鳥取市) (アグリスタート研修6期生)

- ■経営品目 トマト、キュウリ、コマツナ
- ■就農時期 平成26年2月
- ■これからの抱負

経営面では今の規模を維持しながら、作業効率の向上を目指しています。農業はもちろんのこと、家庭人としても育児に積極的に参加するなど、これから農業をやろうという人たちの手本になりたい。

■これから就農する人に一言

就農前の研修等を通じて農業技術や経営について主体的にしっかり学び、実際の現場を踏まえた営農計画を作成してしっかり検討し、就農してから慌てることが無いようにしておきましょう。事前の準備が何よりも大切だと思います。



あなたにアドバイスや支援をしたいと考えています。 組みたいあなたを応援します。

あなたの目指す農業とはどのようなものですか?

あなたの希望

農のある暮らし・

田舎暮らしを希望している。 (農業は家庭菜園程度)

農業に関心があるが、全く経験がな く、まずは農作業を体験したい。

独立して農業を始める

農業を始めるための情報や基礎知 識を得たい。

農業を始めるため、資金確保、農地 取得、技術取得、住宅確保などを具 体的に進めたい。

将来、農業経営をしたいが、技術や 資金が乏しく、現在の生活を維持し ながら、技術を学びたい。

農業法人に就職

農業法人で研修、就職し、農業技術 の習得、自分の適性の確認がした い。

農業法人に就職したい。

就職について、全体的な話が聞きたい。

対応方向

自分の希望を踏まえ、定住地を検討。田舎暮らし体験などに参加。

市民農園(貸し農園)などを借りる。

農業体験・イベント等に参加。

就農相談窓口で相談しながら就農 を目指す。

国、県、市町村の支援措置活用の可能性を検討。

農業法人で研修を受ける。

農業法人に就職する。

相談窓口

(公財)ふるさと鳥取県 定住機構 市町村移住定住担当課

市町村農業担当課

鳥取県農業経営・就農 支援センター

※具体的な就農希望地が決まっている場合は担当の農業改良普及所、市町村農業担当課

鳥取県農業経営・就農 支援センター

※具体的な法人等が決 まっている場合はハ ローワーク



まずは、準備が大切です。 しっかり調べて、焦らず相談して、 一緒に考えましょう。

農業を始めるにあたっての疑問

- ●農業はどの作物で、 どれくらいの収益があるの?
- ●労働時間はどのくらいかかるの?
- ●農地はどうすれば手に入るの?
- ●どんな機械・施設が必要なの?
- ●どのくらいの資金が必要なの?
- ●農業をしたことがないけれど、 誰か教えてくれるの?

相談・問い合わせ

先ずは相談会に参加しよう。 ※就農支援センターの相談 窓口はいつでも相談OK。

- ○農業を始めたいきっかけ
- ○鳥取県を選んだ理由
- ○鳥取県の気候や主要農産物
- ○農業の収益性

- ○家族との話し合いの状況
- ○当面の生活費・営農資金
- ○住宅と定住の条件
- ○地域とのコミュニケーション



農業・農村に対するイメージと現実

農業

作物の成長に感動 収穫の喜び

農村

豊かな自然 田園風景 スローライフ等

農業体験·情報収集

- ○視察研修・体験研修に参加しよう。
- ○自分自身でも調査に出かけよう。
- ○楽しいことばかりでない農作業
- ○技術習得には長期間必要
- ○天候に左右される収量・品質
- ○給料と違い、収入は販売量・単価で変動
- ○地域の行事や共同作業への参加

- ○先輩就農者、農家の事例、現地視察
- ○農業・農村に対する適性を判断しよう。
- ○自分が取り組む作目と場所のイメージを作ろう。



■農業体験制度の概要

研修の種類		内容	実施予定時期等	実施主体名	
	就農体験研修	栽培(果樹、野菜、花き)、飼養(畜産)の農作業体験	随時(1日~5日間)	鳥取県立農業大学校	
体験	農業視察研修	農家、農業生産法人の視察(1泊2日、日帰り)	6 · 3月	鳥取県農業経営・就農	
	農家視察訪問研修	先進農家等の視察訪問、農作業体験、個別相談等	随時	支援センター	

相談会の予定日や視察研修の募集はホームページで確認しましょう。

●鳥取県農業経営・就農支援センター(鳥取県農林水産部農業振興監経営支援課内)

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

TEL(0857)26-7262 FAX(0857)26-7294

HP:https://www.pref.tottori.lg.jp/syunou/ E-mail:keieishien@pref.tottori.lg.jp 〈相談員〉東部·中部地区担当 TEL:070-8803-5991 西部地区担当 TEL:070-8803-5990



研修にチャレンジしよう。 研修の成果は就農·営農計画づくり。

栽培・経営の技術・知識を習得 研修先でのコミュニケーション





農業法人での就業

具体的な営農についてじっくり検討

就農研修

○研修記録、自己点検は忘れずに。受入農家、周辺住民、役場、農業委員会、農協等職員、農業改良普及員の皆さんは、就農後の心強い味方。



具体的な営農についてじっくり検討



頭の中のイメージを じっくり検討し、 明確化



就農・営農ビジョンの作成

- ○就農地、時期
- ○栽培品目、労働力、規模
- ○必要な経費と収入の試算
- ○資金繰り計画
- ○各種支援事業等の活用
- ○さらなる技術習得のための研修

関係機関の助言を受けながら、 一緒に検討



認定新規就農者※ になることで各種施策 に取り組みやすくなり ます。

青年等就農計画の内容

※ 認定新規就農者とは、市町村から青年等就農計画の認定を受けた方です。 (農業経営を開始して5年以内の方は、青年等就農計画の認定申請が可能です。)

●就農地 ●経営開始日 ●就農形態 ●栽培品目 ●農業経営の規模・農業所得等に関する目標(5年後の年間農業所得概ね300万円が目標(就農地(市町村)によって目標所得が異なる)) ●経営基盤の整備(支援事業等の活用) ●労働力

■農業研修制度及び助成制度の概要

研修の種類		内容	実施予定時期等	研修実施主体	
農業アグリチャレンジ科大		公共職業訓練として、農業の基礎知識のほか、実 践に活かせる基本技能を習得	6·10·2月開講 (4ヵ月間、受講料無料)	鳥取県産業人材育成センター倉吉校(訓練場所 は鳥取県立農業大学校)	
学 校		長期:就農品目について、一連の管理作業を自力で行うことで高度な知識と実践力を習得短期:野菜4品目(白ねぎ、ミニトマト、ブロッコリー、スイカ)について品目別に栽培管理の基礎を習得	4・10月開講 (1年間、受講料111,600円) 4・6・7・9・3月開講 (4ヵ月間、受講料40,000円)	鳥取県立農業大学校	
アグリスタート研修事業		集合研修:経営者としての心構え、農村での暮らし、 農業の基礎等必須事項の習得 実務研修:研修指導農家での実践農業技術、経営 ノウハウの習得	2月開講 (最長2年間)	(公財) 鳥取県農業農村担い手 育成機構	
就農準備資金		指定研修機関で農業技術及び経営ノウハウの習得を 目指して研修する場合、その期間中に年間150万円を給付 研修終了後1年以内に50歳未満で就農する方	おおむね1年以上 (最長2年間)	鳥取県立農業大学校な ど県が認定する研修機関	
親元就農促進支援交 付金		認定農業者等の後継者が親元で農業技術を習得するのを支援(研修期間中、月10万円を給付)	最長2年間	親(3親等以内の親族を含む)	



いよいよ起業、 5年計画でステップアップ。 めざせプロのアグリスト。

5年間の 営農計画を作成

関係機関が 計画作成に必要な 情報を提供します!



地域の中で信用と協力が不可欠



- ○営農と居住の場所は同一の市町村にしよう。
- 〇市町村に相談しよう。(助成制度活用)

農地

〇市町村·農業委員会·JA·鳥取県農業農村担い手 育成機構が連携して支援します。

労働力

〇農作業のピーク時には手伝いが必要

資金

- 〇投資的資金・運転資金・生活費が必要
- ○制度融資や農業次世代人材投資資金、就農応援交付 金を活用しよう。

技術

〇農業改良普及所やJAの生産部等からの支援を受け

農業経営は自己責任



数年間は、 経営が不安定になりがち。 周囲の助言にも 耳を傾けながら、 -歩一歩確実に!



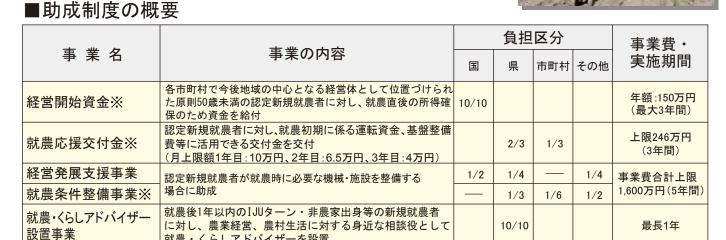
営農スタート

関係機関は、技術向上、経営改善を支援します。 就農・くらしアドバイザーが、身近な相談役として、農業経営、

農村生活についてアドバイスします!

地元とのコミュニケーションは大切

- ■集落内の総事
- ■共同作業の出役 など



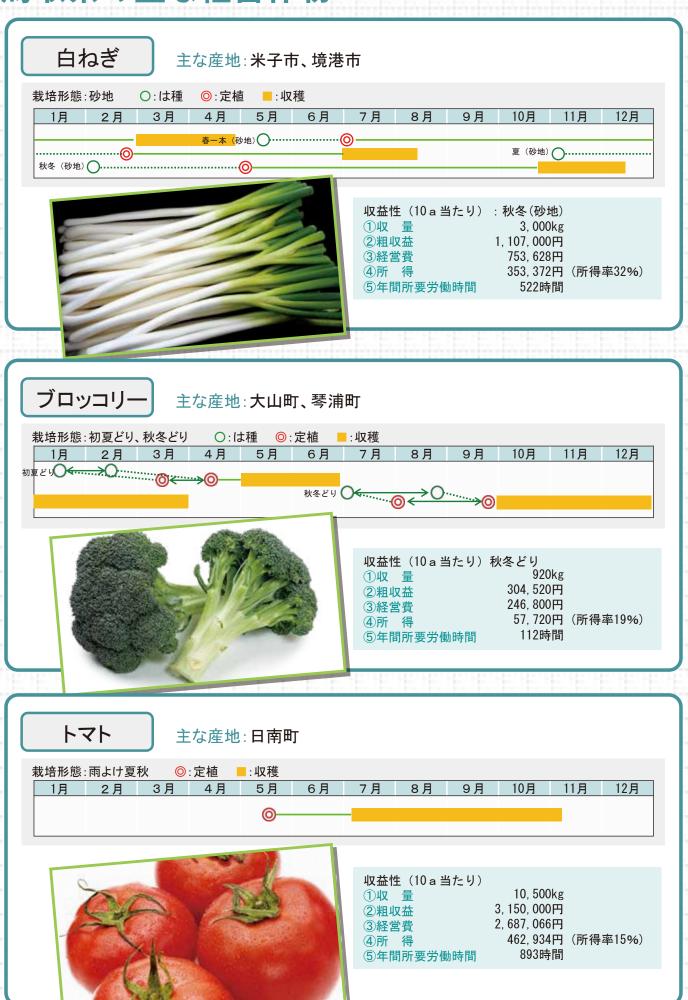
[※]市町村を通じた支援ですので、必ず市町村の担当窓口にご相談ください。

また、経営開始資金と就農応援交付金の二重受給はできません。

経営発展支援事業は就農条件整備事業の活用と併せた検討が必要ですので、併せてご相談ください。

就農・くらしアドバイザーを設置

鳥取県の主な経営作物









その他品目の経営試算(10a当たり)

品目		収量(kg、本)	粗収益(円)	経営費(円)	所得(円)	所得率(%)	労働時間(時間)
作	水稲(個人大規模)		112,225	71,865	40,360	36	24
物	大豆(集落協業)	250	39,174	72,807	△ 33,633	△ 86	10
	ミニトマト(抑制)	3,980	2,937,240	2,003,031	934,209	32	1,303
	トマト(大玉、半促成)		1,866,000	1,130,940	735,060	39	590
	きゅうり(半促成)	9,500	1,662,500	1,158,211	504,289	30	428
野	チンゲンサイ(ハウス2作)	5,000	1,212,000	980,315	231,685	19	406
菜	キャベツ	5,000	435,000	357,459	77,541	18	125
	らっきょう	1,600	1,033,028	811,713	221,315	21	283
	秋冬白ネギ(水田)	2,640	953,040	637,721	315,319	33	460
	アスパラガス(露地)	1,050	1,067,850	715,237	352,613	33	304
	梨 ゴールドニ十世紀(有袋)	4,200	1,512,000	993,746	518,254	34	419
	梨 王秋(有袋)	6,000	1,986,000	1,219,330	766,670	39	262
果樹	柿 富有(平棚)	2,200	578,600	360,616	217,984	38	158
	ぶどう ピオーネ(無加温)	1,500	1,800,000	1,261,986	538,014	30	434
	ぶどう シャインマスカット(無加温)	1,800	1,980,000	1,096,877	883,123	45	448
花	ストック	28,000	1,820,000	1,294,292	525,708	29	393

- 注1 粗収益、経営費等は、標準的家族経営規模に基づく条件で算出しています。
- 注2 鳥取県「農業経営指導の手引き」(平成30年版)から抜粋・引用した数値であり、あくまでも試算です。
- 注3 各品目の経営試算の詳細は、鳥取県農林水産部農業振興監経営支援課のホームページで御覧いただけます。

(アドレス: https://www.pref.tottori.lg.jp/279141.htm)

新規就農者の経営試算(就農5年後)の例

[参考]

No	経営類型	作目・規模	粗収益(A) (千円)	経営費(B) (干円)	農業所得 (C:=A-B) (千円)	所得率 C/A(%)		想定初期 投資(千円)
1	白ねぎ(周年、砂畑)	夏ねぎ20a、秋冬ねぎ40a、春ねぎ30a	9,464	6,521	2,943	31		11,732
2	スイカ+チンゲンサイ +キャベツ	スイカ(ハウス30a、大型30a、前進中型30a)、 チンゲンサイ15a(ハウス)、キャベツ30a	12,371	9,582	2,789	23		15,482
3	スイカ+ストック +キャベツ	スイカ(ハウス18a、大型30a、前進中型30a)、 ストック18a、キャベツ20a	11,925	8,719	3,206	27		11,972
4	ブロッコリー	初夏ブロッコリー1ha、秋冬ブロッコリー4ha	14,529	11,649	2,880	20		14,432
5	トマト(雨よけ、夏秋)	トマト48a	14,688	11,857	2,831	19		31,109
	梨(専作)	ゴールド二十世紀(既存園、有袋)45a、 新甘泉(新植、有袋)20a、王秋(新植、有袋)20a	9,180	6,767	2,413	26		8,465
	1 2 3 4 5	1 白ねぎ(周年、砂畑) 2 スイカ+チンゲンサイ +キャベツ 3 スイカ+ストック +キャベツ 4 ブロッコリー 5 トマト(雨よけ、夏秋) 6 梨(専作)	1 白ねぎ(周年、砂畑) 夏ねぎ20a、秋冬ねぎ40a、春ねぎ30a 2 スイカ+チンゲンサイ +キャベツ スイカ(ハウス30a、大型30a、前進中型30a)、 チンゲンサイ15a(ハウス)、キャベツ30a 3 スイカ+ストック +キャベツ スイカ(ハウス18a、大型30a、前進中型30a)、 ストック18a、キャベツ20a 4 ブロッコリー 初夏ブロッコリー1ha、秋冬ブロッコリー4ha 5 トマト(雨よけ、夏秋) トマト48a 6 梨(専作) ゴールドニ十世紀(既存園、有袋)45a、 新甘泉(新植、有袋)20a、王秋(新植、有袋)20a	1 白ねぎ(周年、砂畑) 夏ねぎ20a、秋冬ねぎ40a、春ねぎ30a 9,464 2 スイカ+チンゲンサイ スイカ(ハウス30a、大型30a、前進中型30a)、 ナンゲンサイ15a(ハウス)、キャベツ30a 12,371 3 スイカ+ストック スイカ(ハウス18a、大型30a、前進中型30a)、 ストック18a、キャベツ20a 11,925 11,925 14,529 14,688 14,	たている 11,857 11,857 12,371	No経営類型作目・規模粗収益(A) (千円)経営質(B) (元円)(C:=A-B) (千円)1 白ねぎ(周年、砂畑)夏ねぎ20a、秋冬ねぎ40a、春ねぎ30a9,4646,5212,9432 スイカーチンゲンサイ スイカ(ハウス30a、大型30a、前進中型30a)、チンゲンサイ15a(ハウス)、キャベツ30a12,3719,5822,7893 スイカーストック スイカ(ハウス18a、大型30a、前進中型30a)、ストック18a、キャベツ20a11,9258,7193,2064 ブロッコリー初夏ブロッコリー1ha、秋冬ブロッコリー4ha14,52911,6492,8805 トマト(雨よけ、夏秋)トマト48a14,68811,8572,8316 梨(専作)ゴールドニー世紀(既存園、有袋)45a、新甘泉(新植、有袋)20a、王秋(新植、有袋)20a9,1806,7672,413	No 経営類型 作目・規模 租収金(A) (千円) 経営質B (元:=A-B) (千円) 所得率 (乙:=A-B) (千円) 1 白ねぎ(周年、砂畑) 夏ねぎ20a、秋冬ねぎ40a、春ねぎ30a 9,464 6,521 2,943 31 2 スイカ+チンゲンサイ +キャベツ スイカ(ハウス30a、大型30a、前進中型30a)、 チンゲンサイ15a(ハウス)、キャベツ30a 12,371 9,582 2,789 23 3 スイカ+ストック +キャベツ スイカ(ハウス18a、大型30a、前進中型30a)、 ストック18a、キャベツ20a 11,925 8,719 3,206 27 4 ブロッコリー 初夏ブロッコリー1ha、秋冬ブロッコリー4ha 14,529 11,649 2,880 20 5 トマト(雨よけ、夏秋) トマト48a 14,688 11,857 2,831 19 6 梨(専作) ゴールドニー世紀(既存園、有袋)45a、 新甘泉(新植、有袋)20a、王秋(新植、有袋)20a、王秋(新植、有袋)20a 9,180 6,767 2,413 26	No 経営類型 作目・規模 相収益(A) (千円) 経営質(B) (千円) (C:=A-B) (千円) 所得率 (C/A(%) 1 白ねぎ(周年、砂畑) 夏ねぎ20a、秋冬ねぎ40a、春ねぎ30a 9,464 6,521 2,943 31 2 スイカ+チンゲンサイ +キャベツ スイカ(ハウス30a、大型30a、前進中型30a)、 チンゲンサイ15a(ハウス)、キャベツ30a 12,371 9,582 2,789 23 3 スイカ+ストック +キャベツ スイカ(ハウス18a、大型30a、前進中型30a)、 ストック18a、キャベツ20a 11,925 8,719 3,206 27 4 ブロッコリー 初夏ブロッコリー1ha、秋冬ブロッコリー4ha 14,529 11,649 2,880 20 5 トマト(雨よけ、夏秋) トマト48a 14,688 11,857 2,831 19 6 梨(専作) ゴールドニー世紀(既存園、有袋)45a、 新甘泉(新植、有袋)20a、王秋(新植、有袋)20a、王秋(新植、有袋)20a 9,180 6,767 2,413 26

[※] 経営試算は、農地の条件や栽培技術の習熟度により変わります。

地域別主要生産品マップ

中部地区

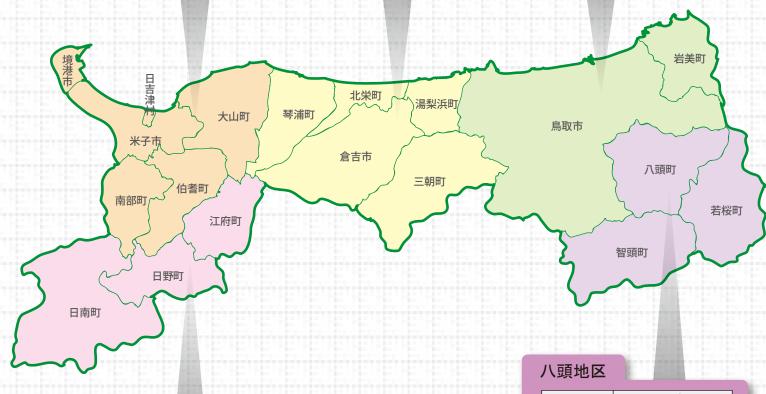
西部地区

品目	主な産地
白ねぎ	全域
フ゛ロッコリー	大山町
にんじん	米子市·境港市
大根	境港市·大山町
梨	米子市·大山町 南部町
柿	米子市·南部町
芝	大山町

品目	主な産地
スイカ	北栄町·倉吉市
ミニトマト	琴浦町•北栄町
トマト	倉吉市
らっきょう	北栄町
白ねぎ	全域
ナガイモ	北栄町
メロン	倉吉市·湯梨浜町
いちご	湯梨浜町·北栄町
キャベツ	倉吉市
フ゛ロッコリー	琴浦町
梨	湯梨浜町·琴浦町
ぶどう	北栄町·湯梨浜町
ストック	北栄町·倉吉市
芝	琴浦町·北栄町
メロン いちご キャベツ ブロッコリー 梨 ぶどう ストック	倉吉市・湯梨浜町 湯梨浜町・北栄町 倉吉市 琴浦町 湯梨浜町・琴浦町 北栄町・湯梨浜町 北栄町・倉吉市

東部地区

品目	主な産地
らっきょう	鳥取市(福部町)
白ねぎ	全域
アスパラガス	鳥取市
梨	鳥取市 (福部町・佐治町・青谷町など)
柿	鳥取市⑺河原町)



日野地区

品目	主な産地
トマト	日南町
白ねぎ	全域
ピーマン	日南町
そば	全域

品目	主な産地		
白ねぎ	全域		
大根	若桜町•八頭町		
アスパ [°] ラカ゛ス	八頭町		
梨	八頭町		
柿	八頭町		
りんどう	智頭町		



就農準備チェックシート

- 〇このチェックシートは、農業で生計を立てる(職業として農業を始める)ことを前提として、新規就農に当たっての適性や知識、準備の進み具合を自分自身でチェックするものです。
- 〇現時点で当てはまらない項目は、就農に向かって準備や修得が必要な項目と お考えください。
- ○該当する項目は口を塗りつぶしてください。

	さい曲 ノー・ナレーナーフ ハウムレ
\	就農に対する適性

- 口健康・体力に自信がある。
- 口生き物(動植物)が好きである。
- □単純作業もこつこつやることができる。
- □事務作業より野外で体を動かすことが好きである。
- 口他人とのつきあいは苦にならない。
- 口忍耐力にはかなり自信がある。

2 就農についての意欲、動機、知識

- 口農業所得で生活できる、職業としての農業を目指している。
- 口家族と一緒に生活や仕事がしたい。
- □農業は、自然災害や技術不足により収穫が皆無(無収入)となる場合があるということを知っている。
- 口農家以外の出身者が新たに農業を始めることは、既存の生産基盤のある農家より厳しい状況であることはわかっている。
- 口先進農家や新規就農者に会い、体験談を聞いたことがある。
- 口農業体験や研修を受け、農作業等の厳しさは体でわかっている。

就農の事前準備状況

- □新規就農に関する情報収集を行っている。
- 口家族が就農に同意している。
- □どんな作物を作るか(作物選定)意向が固まっている。(作物:
- 口どこで農業をするか(就農希望地)意向が固まっている。(希望地:
- 口実際の就農までの準備事項及び段取りは大筋理解している。

4. 就農の準備状況

- □先進的農家、研修施設等で研修を受け(研修中を含む)、目指す農業の技術、知識は身につけた。
- 口就農希望地に知り合いの人等があり、就農に当たり相談に乗ってくれる。
- 口農地の購入または借り入れについて、農業委員会等に相談している。
- 口営農のために用意できる自己資金(生活資金は除く)はある。(金額 万円)
- □営農資金が足りず、融資制度を利用する場合、連帯保証人になってくれる人がいる。
- □農産物の販売方法、販売先のめどが立っている。(
- 口多額の既往負債がない。

5 就農後の生活

- □営農資金の他に、当面(1~2年程度)の生活資金を用意している。
- 口農村で生活する場合、地域とのコミュニケーションが重要であることを知っている。
- 口農業に関わる共同作業や地域での役割が求められることを知っている。
- □農地と住居が離れていると作業が不便であることを知っている。

青年等就農資金の概要 (借り入れを希望される場合は、様々な条件がありますのでお問い合せ下さい。)

区 分	内容		
貸付対象者	認定新規就農者		
使 途	①農地等の改良、造成、保全 ②農業経営用施設・機械等の改良、造成、取得 ③農産物の加工処理・流通販売施設・観光農業施設等の改良、造成、取得 ④創立費及び開業費その他繰延資産の取得等 ⑤家畜・果樹等の導入、借地料・賃借料の支払い ⑥経営開始に伴い必要となる初期的経営費用(運転資金)		
貸付限度額	3,700万円		
貸付対象期間	青年等就農計画の有効期間		
利 率	無利子		
償 還 期 間	17年以内(うち5年までは据置可)		
担 保 等	実質無担保・無保証人(農協等から貸付を受ける場合は、保証料が必要となります。)		
貸付機関	農協等、(株)日本政策金融公庫		
留 意 事 項	資金の償還が終了するまでの間、毎年、貸付機関に対し経営状況を報告する必要があります。		

就農希望地が定まっている方の相談窓口

- 東部農林事務所鳥取農業改良普及所 (鳥取市、岩美町) 〒680-0061 鳥取市立川町6丁目176 TEL(0857)20-3562 FAX(0857)37-1283
- ●東部農林事務所八頭事務所八頭農業改良普及所 ●西部総合事務所農林局西部農業改良普及所 (八頭町、若桜町、智頭町) 〒680-0461 八頭郡八頭町郡家100 TEL(0858)72-3840 FAX(0858)72-3567
- 申中部総合事務所農林局倉吉農業改良普及所 (倉吉市、湯梨浜町、三朝町) 〒682-0802 倉吉市東巌城町2 TEL(0858)23-3191 FAX(0858)23-3198
- 申中部総合事務所農林局東伯農業改良普及所 (北栄町、琴浦町) 〒689-2301 東伯郡琴浦町八橋212-1 TEL(0858)52-2125 FAX(0858)52-2127

- ●西部総合事務所農林局西部農業改良普及所 (米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村) 〒683-0054 米子市糀町1丁目160 TEL(0859)31-9685 FAX(0859)39-0494
- 大山普及支所

(大山町)

〒689-3303 西伯郡大山町所子541-8 TEL(0859)53-3721 FAX(0859)53-3723

●西部総合事務所日野振興センター日野振興局 日野農業改良普及所

(日南町、日野町、江府町) 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1 TEL(0859)72-2024 FAX(0859)72-2090

研修実施機関(※他にも市町村実施研修あり)

●鳥取県立農業大学校

https://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/ 〒682-0402 倉吉市関金町大鳥居1238 TEL(0858)45-2411 FAX(0858)45-2412 ●(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構

https://www.t-agri.com/ninaitekiko/ 〒680-0011 鳥取市東町1丁目271(県庁第二庁舎) TEL(0857)26-8350 FAX(0857)29-4867

移住・定住に関する主な問い合せ先

●鳥取県東京本部

https://www.pref.tottori.lg.jp/tokyooffice/ 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階

TEL(03)5212-9077 FAX(03)5212-9079

●鳥取県名古屋代表部

https://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/ 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル5階

TEL(052)262-5411 FAX(052)262-5415

●鳥取県関西本部

https://www.pref.tottori.lg.jp/kansaioffice/ 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階

TEL(06)6341-3955 FAX(06)6341-3972

公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構

https://furusato.tori-info.co.jp/ 〒680-0846 鳥取市扇町115-1

鳥取駅前第一生命ビル1階

TEL(0857)50-0137 FAX(0857)50-0136 フリーダイヤル(0120)841-558